

ランドスケープの新潮流セミナー 地域経営と ランドスケープ

ウィズ&アフターコロナにおけるランドスケープのあり方

10/31
(土)

10:00~12:00
ZOOMを用いた
遠隔講座

参加費無料

要申込

定員 100名

◆ 第1部 コロナ禍の公園利用に関する検証報告

淡路景観園芸学校では、コロナ禍における公園利用や公園サービスのあり方について、3月よりデータを収集しながら多角的に検証を行ってきました。

緊急事態宣言下の県立都市公園における利用者の行動と意識：嶽山 洋志 淡路景観園芸学校/兵庫県立大学大学院 准教授

定点撮影写真を用いたコロナ禍での公園利用：山本 聡 淡路景観園芸学校/兵庫県立大学大学院 教授

メディアが捉えたコロナ禍の公園：守 宏美 淡路景観園芸学校 インストラクター

◆ 第2部 講演会

講演 1

コロナ時代の公園の使い方～日常以上イベント未満の公園利用～

：若狭 健作 園地環境計画研究所 代表取締役

兵庫県立尼崎の森中央緑地を事例に、対人距離を取りながらできる公園での過ごし方について報告します。

講演 2

国立公園におけるワーケーション推進の取組み

：中島 尚子 環境省自然環境局国立公園利用推進室 室長

環境省では、テレワークが急速に普及するなか、国立公園の新たな利用価値として三密を避けつつ「遊び、働く」場としての活用を推進するため、ワーケーションに係る環境整備への支援等を進めており、その内容について報告します。

◆ 第3部 ディスカッション

ウィズ&アフターコロナにおけるランドスケープのあり方

コーディネーター：中瀬 勲 兵庫県立淡路景観園芸学校校長/兵庫県立人と自然の博物館館長

総合司会・解説：嶽山 洋志

